

# 健康の維持・増進とスポーツの発展に関わる 多様な領域に寄与できる高度専門的職業人を養成する

法政大学スポーツ健康学研究科が目的とするのは、スポーツ健康の分野において現代社会が期待する多面的な高度専門的職業人の養成です。これを実現させるためには「スポーツ健康学」分野において、ある特定の専門分野を深化させるだけでなく、関連する分野を総合的に学んでいくことが必要です。具体的には、幅広いスポーツ健康学に関わる基礎知識をベースに、スポーツと健康づくりに関わる各種の教育や事業を企画・立案、管理・運営、実践・指導、点検・評価することのできる高い専門知識と技能を身に付けるための学びです。これらを提供するために、スポーツ健康学研究科は「スポーツ健康学」を教育研究の土台としながらも、これまでの枠組みに縛られることなく、最新のスポーツ科学と健康科学を「総合的」に展開します。これにより、実践力の高い人材を育成し、健康の維持・増進とスポーツ発展に関わる多様な領域で社会に貢献していきます。

アドミッション・ポリシー (学生受け入れ方針)	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成・実施方針)	ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)
AP 1 人間性と社会性を支える教養を身につけている。(知識・理解) AP 2 「スポーツ」と「健康」に関する基礎的な知識と技能を有している。(知識・理解) AP 3 自ら課題を発見することができる。(思考・判断・表現) AP 4 自ら設定した課題について、わかりやすく他者に伝えることができる。(思考・判断・表現) AP 5 スポーツ健康学に関心があり、学ぶ意欲がある。(関心・意欲・態度) AP 6 スポーツと健康づくりに関わる各種の教育や事業を計画・立案することができる。(技能)	スポーツ健康学に関する基礎的かつ俯瞰的な知識と思考力を修得するための「基礎科目」としての「スポーツ健康学特論」等および、修了後のキャリアを見据えた高度で専門的な知識と技能を修得するための「展開科目」としてのヘルスプロモーション科目群、スポーツコーチング科目群、スポーツマネジメント科目群によってカリキュラムを編成しています。	DP1 豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけている。(知識・理解) DP2 「スポーツ」と「健康」およびそれらととりまく「社会環境」について体系的に理解している。(知識・理解) DP3 高度で専門的な知識を有している。(知識・理解) DP4 自ら設定した課題について、適切な研究方法を用いて考察することができる。(思考・判断・表現) DP5 自ら設定した課題について、論理的に説明することができる。(思考・判断・表現) DP6 スポーツ健康学の知を探求し、社会に貢献する意欲がある。(関心・意欲・態度) DP7 スポーツと健康づくりに関わる各種の教育や事業を企画・立案、管理・運営・実践・指導、点検・評価することができる。(技能)

## 研究室紹介

泉 重樹 教授

アスレティックトレーニングとは

常にスポーツ現場のことを考え、研究に取り組む

私の専門分野は、スポーツ医学・アスレティックトレーニングです。アスレティックトレーニングとはアスレティックトレーナーがカバーする分野のすべてが研究領域になります。スポーツ現場における外傷・障害の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション、コンディショニング、検査・測定評価など、領域は多岐にわたります。ですが最も大切なことは、アスリート達が大好きなスポーツを安全に行えること、そして最高のパフォーマンスを出すための準備に貢献することです。常にスポーツ現場のことを考えて研究に取り組む。そんな研究室です。



## 学生・修了生の声

犬走 渚 修士課程 在学中

実務を経験することで研究の重要性を知る。  
将来は実務と研究を両立させることが目標

進学のかきかけ

進学前からトレーナーとして活動していました。スポーツ現場では「エビデンス」を活用する能力を求められていると強く実感し、大学院で研究活動を行うことで知識の向上だけでなくエビデンス活用のトレーニングになればと進学を決意しました。

将来の目標

現在の研究テーマは「瞬間的な力発揮能力改善を目指したトレーニング」と「Cross Education」です。修士課程修了後には博士課程に進学し、トレーニング効果について中枢神経系に着目して検証を続けていきたいと考えています。そしてスポーツ現場と研究活動、両方の面を熟知した研究者になることが目標です。

研究テーマ

「瞬間的な力発揮能力改善を目指したトレーニング」「Cross Education」



専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
安藤 正志 教授	リハビリテーション医学	運動学、運動療法	運動器疾患特論、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
泉 重樹 教授	アスレティックトレーニング、スポーツ医学、鍼灸学	体幹(腰部)の動作とエクササイズ評価、スポーツ外傷・障害に対する鍼治療	アスレティックトレーニング特別演習、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
苅部 俊二 教授	スポーツコーチング学、スポーツ心理学	身体運動と言語イメージ	スポーツコーチング学特論、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
鬼頭 英明 教授	学校保健、健康教育、公衆衛生	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、性教育、医薬品教育、健康教育	公衆衛生学特論、学校保健学特論、保健体育科教育法特別演習、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
木下 訓光 教授	スポーツ医学、循環器病学	スポーツ心臓、エネルギー代謝、心肺運動負荷試験、生活習慣病の運動療法	スポーツ健康学特論Ⅱ(自然科学)、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
高見 京太 教授	発育発達学、運動生理学	子供の運動や生活習慣と体力・健康づくり、身体活動のエネルギー消費量	※2019年度はサブディカル(研究専念年度)です。
永木 耕介 教授	スポーツ教育学	教材文化論、武道教育論	スポーツ教育学特論、保健体育科教育法特別演習、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
中澤 史 教授	スポーツ心理学	アスリートの心理サポート(スポーツメンタルトレーニング・スポーツカウンセリング)、体育授業・運動部活動の心理学	スポーツ健康学特論Ⅰ(心身科学)、スポーツメンタルトレーニング演習、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
平野 裕一 教授	スポーツバイオメカニクス、トレーニング科学	投打動作の分析、瞬発的なパワー発揮を向上させるための筋力トレーニング	スポーツ運動学特論、スポーツバイオメカニクス特論、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
山本 浩 教授	コミュニケーション論、ジャーナリズム論	スポーツシーンのコミュニケーション、スポーツ実況論	スポーツジャーナリズム特論、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
伊藤 真紀 准教授	スポーツマネジメント、女性スポーツ	スポーツにおけるリーダーシップ、アスリートのキャリア構築	スポーツ組織行動特論、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
瀬戸 宏明 准教授	スポーツ医学、整形外科	運動器損傷に対する予防と再生について	スポーツ健康学特論Ⅱ(自然科学)
林 容市 准教授	応用健康科学、生理心理学	身体活動・スポーツ動作の感覚認知と運動制御、生理的狀態と心理的情報との対応、種々の身体パフォーマンスに関する体力の測定・評価	※2019年度はサブディカル(研究専念年度)です。
吉田 政幸 准教授	スポーツマーケティング、スポーツ消費者行動	スポーツイベントにおける集客、スポーツファン、スポーツレガシー、スポーツの社会的効果	スポーツマネジメント特論、スポーツ消費者行動特論、スポーツフィールドスタディー演習、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
井上 尊寛 専任講師	スポーツ産業学、スポーツマーケティング	スポーツ観戦者の観戦行動、プロ・スポーツクラブのマーケティング戦略	スポーツ産業学特論、スポーツマーケティングリサーチ演習、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
ネメシユ ローランド 専任講師	コーチング学、ハンドボールコーチング、体育学	GCA(Game Centered Approach)	スポーツトレーニング学特論、スポーツ健康学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

[2019年度] ※年度により授業を持たない場合があります。

## 修士課程

●基礎科目  
研究デザイン・フィロソフィー  
スポーツ健康学特論Ⅰ(心身科学)  
スポーツ健康学特論Ⅱ(自然科学)  
スポーツ健康学特論Ⅲ(人文社会科学)

●展開科目  
[スポーツコーチング科目群]  
スポーツコーチング学特論  
スポーツ運動学特論  
スポーツバイオメカニクス特論  
スポーツトレーニング学特論  
発育発達学特論  
スポーツ教育学特論  
アスレティックトレーニング特別演習  
スポーツメンタルトレーニング演習  
チームビルディング演習  
保健体育科教育法特別演習

[ヘルスプロモーション科目群]  
健康体力学特論  
健康心理学特論  
運動器疾患特論  
スポーツ栄養学特論  
公衆衛生学特論  
学校保健学特論  
体力・機能測定評価演習  
運動疫学演習

[スポーツマネジメント科目群]  
スポーツマネジメント特論  
スポーツ産業学特論  
スポーツメディア特論  
スポーツ健康政策学特論  
スポーツジャーナリズム特論  
スポーツ組織行動特論  
スポーツ消費者行動特論  
スポーツフィールドスタディー演習  
スポーツマーケティングリサーチ演習

●研究指導科目  
スポーツ健康学演習Ⅰ  
スポーツ健康学演習Ⅱ  
スポーツ健康学演習Ⅲ  
スポーツ健康学演習Ⅳ

[2019年度] ※開講科目は年度により異なります。すべて2単位